

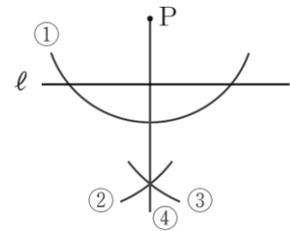


1

1 (1) <点から直線への垂線>

- ① 直線  $l$  と 2 つ交点をもつように、点  $P$  を中心とする円をかく。
- ②, ③ ① でできた 2 つの交点をそれぞれ中心とする半径の等しい円が互いに交点をもつようにかく。
- ④ ②, ③ でできた交点と点  $P$  を結ぶ。

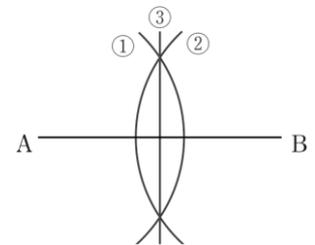
垂線の作図



(2) <垂直二等分線>

- ①, ② 2 点  $A, B$  をそれぞれ中心とする半径の等しい円が 2 つ交点をもつようにかく。
- ③ ② でできた 2 つの交点を結ぶ。

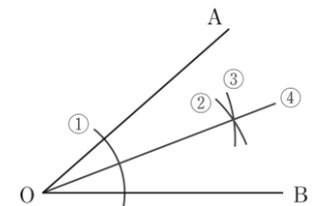
垂直二等分線



(3) <角の二等分線>

- ① 線分  $OA, OB$  とそれぞれ交点をもつように、点  $O$  を中心とする円をかく。
- ②, ③ ① でできた 2 つの交点をそれぞれ中心とする半径の等しい円が互いに交点をもつようにかく。
- ④ ③ でできた交点と点  $O$  を結ぶ。

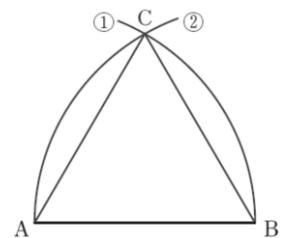
角の二等分線



2 (1) <正三角形の作図>

- ①, ② 2 点  $A, B$  をそれぞれ中心とする半径の等しい円が交点をもつようにかく。
- ③ ①, ② でできた交点と 2 点  $A, B$  をそれぞれ結ぶ。

正三角形の作図



(2) ① 線分  $AB$  を延長し、点  $A$  を通る垂線を作図する。

② ① の垂線上に  $AB$  の長さと同じになるように点  $D$  をとる。

③ 2 点  $B, D$  からそれぞれ線分  $AB$  の長さと同じ弧をかき、その交点を  $C$  とする。

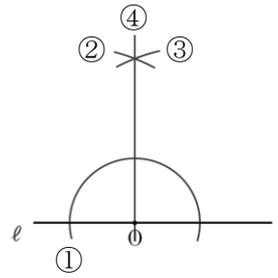
(3) ① 正三角形  $ABO$  を作図する。

② 2 点  $A, B$  を通る円  $O$  をかき、点  $B$  から  $AB$  の長さと同じ辺  $BC$ , 辺  $CD$ , 辺  $DE$ , 辺  $EF$ , 辺  $FA$  を作図する。

3 (1) <直線上にある点を通る垂線>

直線上にある点を通る垂線

- ① 直線  $l$  と 2 つ交点をもつように、点  $O$  を中心とする円をかく。
- ②, ③ ① でできた 2 つの交点をそれぞれ中心とする半径の等しい円が互いに交点をもつようにかく。
- ④ ②, ③ でできた交点と点  $O$  を結ぶ。



(2) 線分  $AB$  の垂直二等分線

(3) 点  $C$  を通る辺  $AB$  の垂線

4 2 点から等しい距離にある点の集まり → 垂直二等分線

5 (1) 線分  $AB$  を点  $B$  の方に延長する。

(2) 直線  $l$  の両端をそれぞれ中心とし、点  $P$  を通る円をかく。

6 2 点  $A, B$  から等しい距離 → 辺  $AB$  の垂直二等分線

2 点  $B, C$  から等しい距離 → 辺  $BC$  の垂直二等分線

7 2 辺から等しい距離にある点の集まり → 角の二等分線

8 2 辺から等しい距離にある点の集まり → 角の二等分線 → 2 辺  $AB, CD$  をそれぞれ延長する。

9 円の中心の作図 → 2 つの弦の垂直二等分線の交点

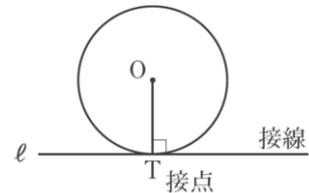
10 線分  $AC, AB$  から等しい距離にある点の集まり →  $\angle CAB$  の二等分線

線分  $AB, BD$  から等しい距離にある点の集まり →  $\angle ABD$  の二等分線

11 円の接線は、接点を通る半径に垂直である。

接線の性質

- 12 ① 点  $A$  を通る垂線を作図する。
- ② 線分  $AB$  の垂直二等分線を作図する。
- ③ ① と ② でできた直線の交点を  $O$  とする。



- 13 (1) ① 垂線を作図する。 → ② ① でできた  $90^\circ$  の角の二等分線を作図する。
- (2) ① 正三角形を作図する。 → ② ① でできた  $60^\circ$  の角の二等分線を作図する。
- (3)  $180^\circ - 60^\circ = 120^\circ$  を利用する。
- (4) ① 垂線を作図する。
- ② 正三角形を作図する。
- ③  $60^\circ + 30^\circ \div 2 = 75^\circ$  を利用する。

※(1), (2) の考えを利用し,  $30^\circ + 45^\circ = 75^\circ$  としてもよい。

14 <等高三角形の考え方>

$\triangle ABD$  と  $\triangle ACD$  は高さが等しい三角形

このとき, 面積比は底辺の長さの比になる。

$$\triangle ABD : \triangle ACD = a : b$$

辺  $BC$  を 2 等分し, さらに 2 等分すると辺  $BC$  を 4 等分できる。

